

NO.110

増 版

43.9.11刊

若者たち

1. 君の行く道は 果てしなく遠い
だのに何故 歯をくいしばり
君は行くのが そんなにしてまで

2. 君のあの人は 今はもういない
だのに何故 何を探して

君は行くのか あてもないのに

3. 君の行く道は 希望へと続く
空にまた 阳が昇る時
若者はまた歩きはじめる

空にまた 阳が昇る時
若者はまた歩きはじめる

(増2)

個人山行の案内

NO.110

(1) すれの山行も前に一応れんらくさ。

- 。9月15日 越後駒ヶ岳 前夜発日帰り
。費用 3000円位 (雨天中止)
- 。歩程 約8時間 (2003M)
内合せ 西区東ヶ丘68 久保田治迄
TEL 241-15380
- 。9月22日～23日 前夜発1泊2日
。吾妻山 (2024M) 福島・山形県
。費用 (雨天中止)
- 。内合せ 保土ヶ谷区保土ヶ谷町1-324
鈴木国之迄 tel 741-12642
(P.m 7:00 ~ 9:00)
- 。10月5日～7日 前夜発2泊3日
。八甲田山 (1585M) 青森県
。費用
- 。内合せ 鈴木国之迄
- 。10月6日 前夜発朝帰り
- 。お月見山行 箱根・明神・明星ヶ岳
。10月6日は十五夜です、おだんご食べて
ダベリましょう。(月が出ない時は中止)
- 。集合 横浜駅5・6番ホーム地下道上
5日・20時30分 (強羅行最終東京予定)
- 歩程 約5時間

。集合 21日・19時30分

横浜駅7・8ホーム地下道上

。予定コース 上野・小諸・中込・初谷
荒船山・ガーデンハウス・下仁田

高崎・上野

。内合せ 港北区太尾町2-1-27

竹田 明迄 tel 533-12792

6:35~7:00 大内沢下降(7:30~7:50) 水場
7:45~10:15 大内沢小屋(10:50~12:00) 奈良田(15:00)

東神奈川 ~甲府	460.-
府 ~広河原 (人當)	マイクロバス 540.-
肩 (夕食付)	小屋 350.-
農 (泊り)	鳥小屋 350.-
奈良田温泉 (白根荘)	1,500.-
奈良田 ~身延 (荷代共)	360.-
身延~横浜	610.-

第154回 支部山行報告

丹沢・勘七ノ沢 8月18日

心配されていた台風もなんのことなく、早朝から快晴。国鉄の事故の邪魔もあって出発は予定を一時間も遅れる。

草鞋を買い揃えて大倉より入り、一時向程林道を歩くと河原に出る。ここで小川先輩の指導の下にわらじに履き換える。腹ごしらえをしていよいよ歩き始めたのはかれこれ12時、木曽の多い快適な沢に皆ごきげん、オ一の滝で初心者等は思わず歓声をあげる。足元をびちゃ／＼やりながら次々と出てくる大岩、滝、堰堤に本領を發揮して飛び廻る者、岩にしがみつく者、様々、そのバックスタイルも又一日に値する。

渾五の滝では、垂直に落下する見事な眺めに暫し溜息、ザイルを使つて水際をしぶきを浴びながらこの登りはスリル満喫。男性群は先祖を思い起してか身軽く登つたり降りたり、一時間余りもここで楽しむ。この先哲らくは勘七で一番おもしろいと言われるゴルジュとなる。暑さにたまりがねてかびふんダイビング。つられてツルリ、又一人

この木浴び、ご当人には失礼ながらなる程面白い。これを過ぎて堰堤が現われると沢も終りでかなりきつい斜面のがしとなる、少しでも木場のある道をとつて花立に出る。

夕日に映える表尾根を左手に、バカ尾根の急な下りは黙つてもこころがへてしまいそう。大倉に着くころには日もとっぷり暮れて、いささか疲れた様子。渾沢で解散したのは既に八時を回っていた。

(足立記)

(参加者)

石井春男(孫)、小川竜利、久保田治、鈴木国え、石山武、浅井俊明、竹田明、吉岡信子、田中絹代、内田栄子、足立久子、他三名、

(コーススタイル)

渾沢(7:15) 大倉(7:30) 二俣(10:45~11:30) F5(13:00)
~14:30 花立(16:30~17:00) 大倉(19:30~19:55)
渾沢(19:50)

“お知らせ”

NO.110

原稿募集中『しだ』20号

浅井俊明氏を編集者に、来春発行予定です。
前号に劣らず多大なご協力お願い致します。
原稿締切り 11月未日 必ず厳守
送り先：保土ヶ谷区三保川町2532番63
、浅井俊明

。十月初旬に予定されていました、支部山行の
常念山脈は、日程等の都合により中止にさせ
ていただきますので御了承下さい。

。9月例会に続き10月もスライド映写へ個人山
行へを予定していますのでご期待を。
くおいで下さい。

。9月より10月にかけて支部山行の向があります。
すが個人山行(別紙通)にてお樂のしみ下さ
い。特に新しく仲間になられた方達も遠慮な
くおいで下さい。

。10月、オ一日曜に予定してあります忘年山行
の希望地等を委員までお願ひします。

-4-

行事報告

8月8日～11日 オ153回支部山行

参加アマ名
他 1名
出席17名

14日 例会 於・婦人会館
白峰三山

他 3名
参加11名

18日 オ154回支部山行
丹沢勘七の沢

他 3名
参加8名

31日～9月1日 オ155回支部山行
合同キャンプ 参加8名

行事予定

9月11日 例会 於・婦人会館
10月18日 オ156回支部山行 小樅山

編集後記

毎日／＼すこしづつ、やっと出来たこのニ
ュース、苦しくてもやはりうれしいもの。A.T

例会

10月9日

Pm.6:30より

横浜市

於・婦人会館

時間を守ろう

NO. 111

昭和43年10月9日

SHC 横浜支部

横浜市中区初音町1の19 影山方
編責・渡辺園代

第157回支部山行

---箱根---

神山・駒ヶ岳

・みんなで楽しむ山歩き。

11月 10日(日) 日帰り 雨天中止

〈コース〉 横浜—小田原—駒ヶ岳登口^{ゲブル}山頂駅---駒ヶ岳---
神山---大涌谷—小田原—横浜

〈歩行時間〉 約3時間

〈費用〉 約800円 + 50円(L3料代)

〈擔行品〉 弁当、食器、はし、雨具、防寒具、歌集、etc.

〈集合〉 横浜駅5・6番線木-△地下道直上

横浜発7時31分 ^{10日(日) 7:20 AM} 静岡行最後部乗車

〈係〉 宮野昌(C.L) 鈴木国元(S.L)

連絡は、保土ヶ谷区保土ヶ谷町1の24 鈴木

箱根の最高峰 神山と富士の展望台

駒ヶ岳で 静かな秋の一日を楽しみます。

しる粉を用意します。

多数の参加を。

略図は裏口へ

第155回 支部山行 8月11日～9月1日

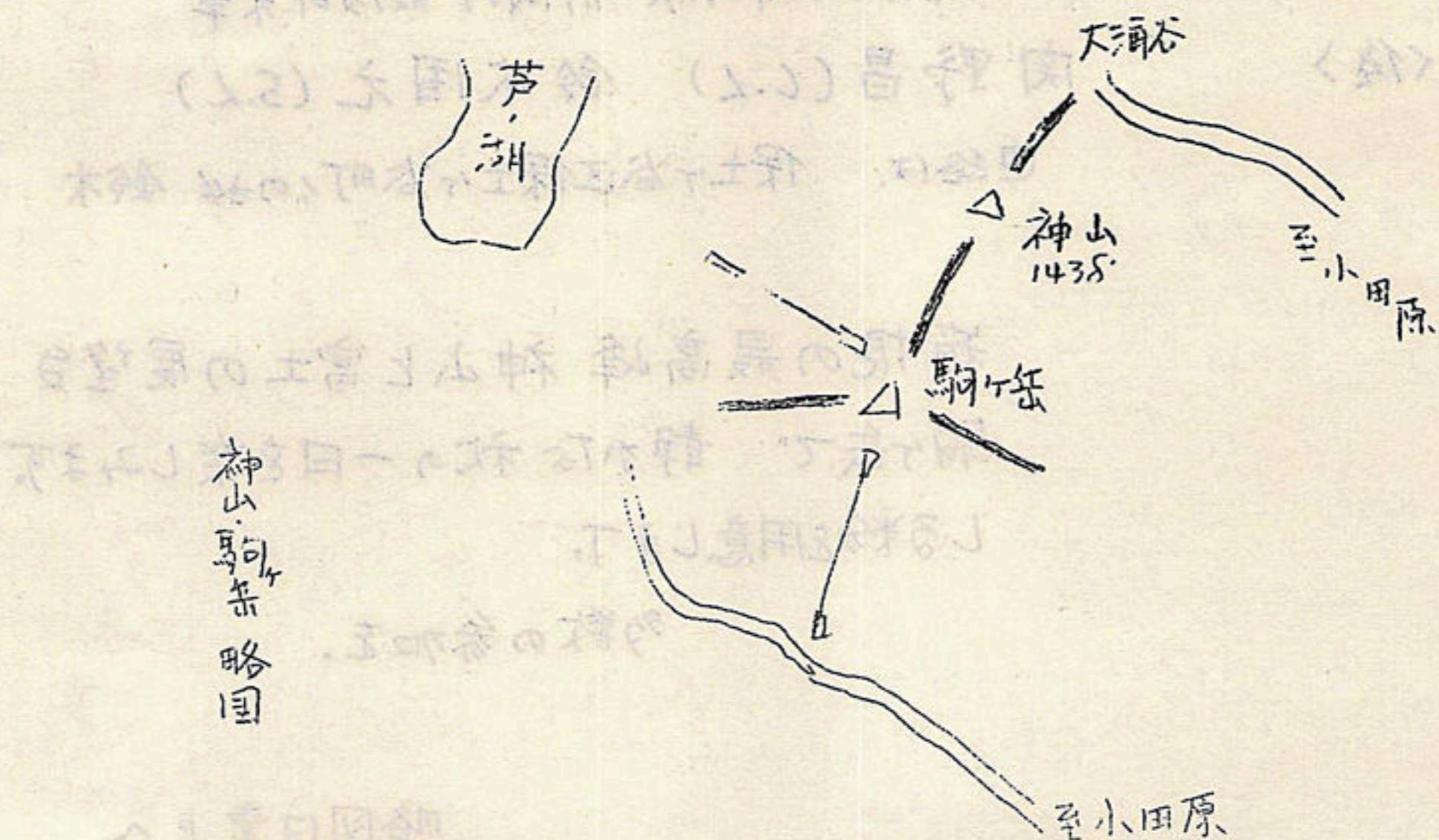
オ一回丹沢宍沢キャンプ便り

先日リーダー及び会員の皆様に、大変お世話になりました。六日間もの雨模様で、気にかけておりましたか、支部の人とともに横浜を出発しました。雨の降りしきる中を、ミロク山荘に到着。山荘の中では、すでに歌声と歓声でいっぱい。我々横浜支部は少々「ひかえめ」などで、声も出ませんでした? 大広間のキャンドルサービスは、各支部とも、一つに溶け合って「意氣投合」支部交流会が、夜更まで続きました。

翌朝は 晴れ。気分爽快と言いたい所ですがアルコールが頭から離れず、あわれな状態だったのです。大自然の中で、女性たちの作った料理は「おふくろの味」といったところです。場所が場所だけに、味もまた最高なのがよ!…

二日間の楽しい交流会でした。

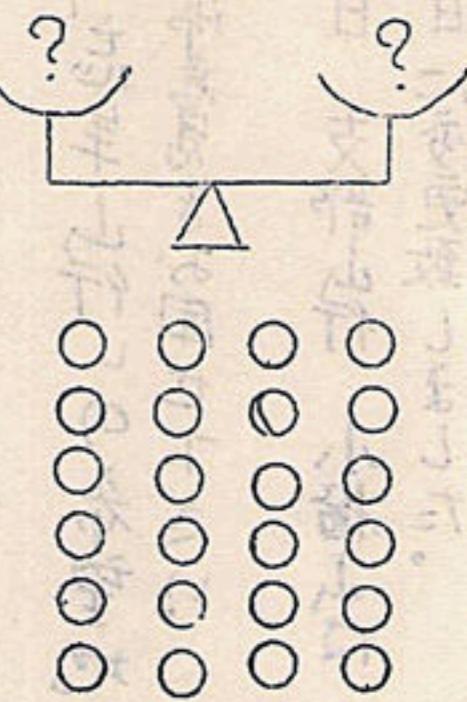
（跡村記）



ちえのわ

勇気あるもの

一、この道は長いけど歩きながらゆこう
石ころだらけでも歌いながらゆこう
ごらんひまわりは空へ空へ太陽へ
友の背中を仰ぐ時友と
手と手を握る時この手のひらに
勇気が湧いてくる湧いてくる



外見の同じ24個の玉の中で、一個だけは重きが異なる。

てんびんへ支点の左右に受皿のあるはかりを4回使ってその玉を見つけ他の23個より重りか軽いかも判定するにはどうしたらいいでしょう。

受皿にはこれらの玉以外の物を乗せてはいけません。

二、幸せは何処にある探しながらゆこう
果しない旅だけビ笑いながらゆこう
ごらん夕焼けの空は空は茜色
友と悲しみ語る時明日の
楽しき語る時このくちびるに
勇気が湧いてくる湧いてくる

ごらん進み行く道の道の砂埃
友の顔にもついている
僕の胸にもついているこの靴音に
勇気が湧いてくる湧いてくる

お知らせ

新入会員 (9月より入会しましたよろしく)

渡辺三世子 戸塚区鍛冶ヶ谷76-1の1

SHC 6585

野村晃一 南区大岡町2丁6の2

SHC 6627

湯口静江 中郡伊勢原町岡崎4795

SHC 6635

前号でお願いしましたが、"しだ"の原稿を

11月末までに浅井氏又は委員にお渡し下さい。

下さい。

12月の「忘年山行」の希望地決まりましたか。

多數の御意見をお聞せ下さい。

10月20日 支部山行 小梅山は 係の都合により
10月27日に変更致しました。

本部会費未納の方は至急納入して下さい。

貴方は 月で会費を支払います。

行事報告

9月11日 例会

於・婦人会館

参加 20名

行事予定

10月9日 例会 於・婦人会館

10月27日 やなみ支部山行 小梅山 (昼) 久保田

11月10日 やなみ支部山行 神山・駒ヶ岳 (夜) 富野

(今月は記事が少なくて困りました。)

例	会	日
11月	13	(木)
	14	
PM 6:30ヨリ		
於 横浜市		
婦人会館		

昭和43年11月14日

SHC 横浜支部

横浜市中区朝音町1-19 影山方
縮真・竹田明

第158回支部山行

忘年山行

三浦海岸

12月1日(日) 前夜発日帰り 雨天未定

費用 1,000.- (二食付宿泊代)

携行品 食器(1日分用に使用します。)

集合 11月30日 PM7:00 横浜駅5番木戸地下道上

係 中山一重、鈴野昌 京急行用札口

連絡方法 在宅にて至急中山まで
(Z61) 0353宿泊地 分厚み荘(民宿) 京急行三浦海岸下車5分
tel 横須賀 0468-85-0609

メモ

語ろう!!

遊ぼう!!

歌おう!!

オ156回 支那山行

10月27日

小 榆 山

再度の交渉を不成功に終り、遂にタクシ一を締め、得てニヒラ時向半。早朝6時40分の始発バスでひそりと静まる終点、塩平に降り立つ。

まだ膚寒い焼山林道を塩に沿ったカラ松の林を縫って進む。やがて左手、乙女高原への導標に導かれて細い山道へと入る。

ステンドグラスを思わせる赤と黄の雜木林のトンネルをくぐって登る事しばし、前方高く巨岩が見える、弘法岳である。一汗かいた登りも一応ここで終る。振り返って見れば白銀をいだいた富士の雄姿が視界にとびこんでくる、空は無限に青い。

さて屋根を越せばいよいよ乙女高原へのオ一步である。焼山峠から続く広い乙女林道は素晴らしいプロムナードコースだ。黄金

色に波打つカラマツの林、高原一帯に敷きつめたキツネ色の枯草、現在する白樺の白が目に浸みる。遅れ咲きのマツムシ草の紫も印象的だ。西方の尾根へ駆け登れば、奥秩父主脈からハケ岳へ残念ながら頭は隠れ）、白銀に輝く南アルプスの峯々、そして富士山を素晴らしい山岳展望である。

一同、乙女高原に別れをつげ焼山峠から小榆山へと向う。頂上直下明るい雜木林の道端で展望のオデンが出る、そのあまりのうまさで舌を巻いてしまう。奥秩父の声・どんな味だったんだろうね。(小榆山の頂上はなんならかな草原になつていて昼寝には絶好、又シンセキやベンチも完備してあつた。展望も出で来て奥秩父以外はあまり良くなかった。全員に輪になつて自己紹介、そして10分間の昼寝。帰りの下りには泣かれました、石ころだらけの長い一道、田舎のバスは定刻よ

り5分も早く出発するという事実は良い勉強になりました。最後まで天気に恵まれ楽しい山行となつた。
（佐々木記）

コースタイム

塩山6・45→塩平7・20→弘法岩8・50→乙

女高原9・50→10・00→荒山峠11・20→木場
11・45→12・30、小糸山頂上12・45→13・25→中牧
入口バス停13・00→深平バス停13・30→山梨駅

参加者

久保田治穂、鈴木国之、石山 武

竹田 明、佐々木隆、中山一重

吉田信子、今川勝子、足立久子

渡辺三世子、湯口轉枝、他女性6名

4年1月～3月 支部山行予定

1月 不老山（標高中山一重）

2月 八方尾根スキーへ標高佐々木美智子（

腰をまくりを束ねてへ縁、西山 武）

シーハイル

一 岩木のおろしが 吹くなら吹けよ
山がう山へとわれらは走る

昨日はほんじゅうる 今日またあじゅら
煙立てつつ おおシーハイル

二 ステッブタンスリヤ たわもれかかる
杉のニズエの みれんの雪よ
心はのこれど エールにとどめ
クリスマニアで おおシーハイル

三 夕陽はあがあが シュブルをめて
たどる雪道 はてさえしれず
町にはちらほら 灯がついた
ラッセルいそげよ おおシーハイル

3月 壱那山（係渡辺開化）

お知らせ

。じだ20号の原稿、今月が締切り日です。
未投稿の方は、至急、浅井氏又は、委
員まで。

個人山行

。11月17日(夜行日帰り) 日本百名山の一
つ、ミヅガキ山へ奥秩父)に行きます
。希望者はどうぞ、定員4名、又は8
名。 内合せ・久保田治、竹田 明

。11月23～24日(夜行一泊) 健脚向
場所未定 内合せ・鈴木国之
TEL 741-2642 Pm 7:00-9:00

。11月23～24日(朝立一泊)
兩神山(奥秩父) 費用約二、〇〇〇.
(宿泊(食事)代含む) 泊り卑し入みの
ため希望者は至急連絡を。

連絡先、竹田 明

tel
531
2792
Pm 7:30
~10:00

。恒例の、忘年山行。多數参加して楽しい
ものに致しましょう。

行事報告

10月9日 例会 婦人会館 出席18名
10月27日 オ156回支那山行 参加11名
小稲山

行事予定

11月14日 例会 婦人会館
12月1日 オ158回支那山行 係・中山
忘年山行(三浦海岸)・内野

後記

例会迄、あと二日、どうやら書き終った
難なごいことはカニベンして下さい。A.T.

例会
12月11日(水)
Pm 6.30より

婦人会館

二二一ス

NO. 113

昭和43年12月11日

SHC 横浜支部

横浜市中区初音町1の19影山方
編著 渡辺開化

第159回 支部山行

伊豆 万二郎・篠木山

1月12日(日) 夜立日帰り 雨天決行

〈コース〉 横浜—伊東—大室高原入口—天城高原ロッジ---
四ツ辻---万二郎岳---篠木山---大川---伊東

〈費用〉 交通費 約1200円 宿泊代 300円 食事代 400円内

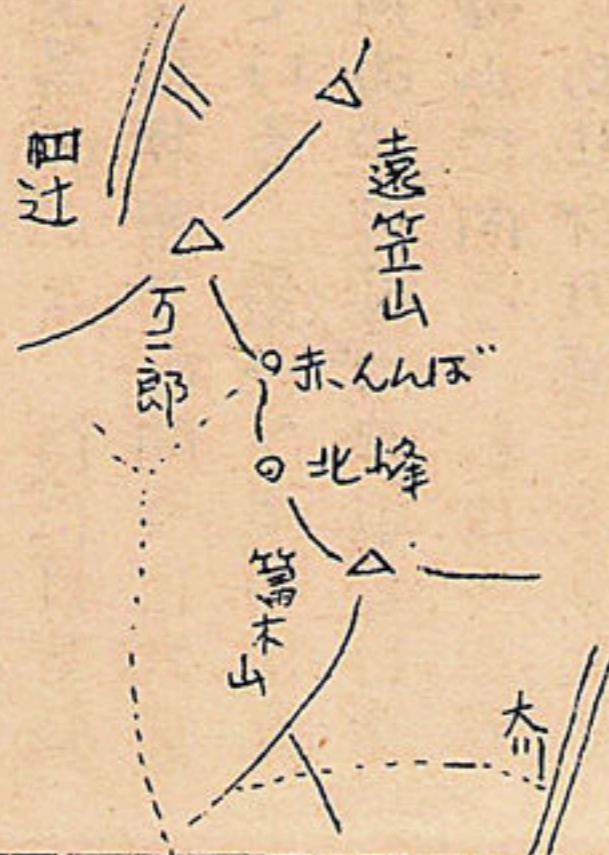
〈携行費〉 雨具、防寒具、歌集、弁当(昼)米3合、ETC.

〈宿泊地〉 大室高原・伊東寮

〈集合〉 横浜駅5・6番線ホーム地下道上 11日(土) 19:00

横浜発19:08 伊東行 最前部 乗車予定

〈係〉 中山一重・鈴木国之



ひさしぶりで静かな伊豆の山
を歩きます。大島や利島の浮
ふる相模灘を見ながらの楽な山
行です。(多少ヤブあり)

(宿泊地の關係で申込んで)
(いたたくと有難いです。)

オ157回 支部山行

11月10日

箱根 神山・駒ヶ岳

参加者 岩野昌、鈴木国之、石山武、中山一重、吉岡信子、蒲谷弘子、齊藤隆子
コースタイム

横浜(7.3)小田原(8.43)S9.00駒登り口(10.00)
S10.05駒山頂(10.10)S10.45鞍部(11.15)S13.15
神山(13.50)S14.10大湧谷(15.00)S15.33小田原
(17.12)S17.48横浜(18.59)

前日の雨で心配された天気も、うそのようになつた。快晴の上天気となる。バスの中から箱根の紅葉に目を奪われてい
るうちに駒ヶ岳登り口に着く。そこからケーブルに乗り換え駒ヶ岳山頂に着く。展望は素晴しくよく、正面に富士山、愛鷹山、遠く白い帽子をかぶった南アルプス連峰、

それにハツ岳、丹沢等の山々、後に目を転じればキラキラ光る相模湾との向うに大島がポツカリと浮んでゐる。景色は良いが風がすごく強い。強風の中を飛ばされなりよ
うにカヤトの道を神山に向う。しばらく歩くヒカヤトの道からあせびの道に変ると風もぐーんとあさまる。駒、神山の鞍部を少し登つたところで今日の主役おしるこを食べる。寒いせいがそれとなべか大きかつたこともありなかくあ、たかくならない。予定の人数より少なかつたので腹一杯食べ
る。たいして急でない神山の登りはちょっとここえた。神山で最後の展望を見てのんびりと大湧谷に下つた。
今日一日雲のない上天氣であつたが、風が強く肌寒い天氣だつたのが残念であつた。

(5) (4) (3) (2) (1) 改正案
 会則第4条 委員会 则改正について
 任期は一年とし、再選は妨げなし。
 任期を二年とし、再選は出来ない。
 任期を一年とし、再選は出来ない。
 任期を二年とし、その半数を一年毎に改選し、再選は出来ない。
 任期を一年とし、その半数を六ヶ月毎に改選し、再選は出来ない。
 現行通り、

交通費	
横浜—小田原	
電車	220円
小田原—駒込	110円
バス	150円
駒込—駒ヶ岳	
ケーブル	60円
大涌谷—小田原	
バス	150円
小田原—横浜	
電車	220円

(1)

雪が降ってきた
 ほんの少しだけど
 私の胸の中に
 積りそうな雪だった
 幸をなくした 黒い心の中に
 冷たく淋しい
 白い手かしのびよう

(2)
 雪が溶けてきた
 ほんの少しだけど
 私の胸の中に
 残りそうな雪だった
 灰色の雪が 私に教えてくれた
 明るい陽さしか
 すぐそこに来ていると

白い想い出

お知らせ

・一月の例会で恒例のプレゼント交換を行
われます。金額は二百円、アイテアあ
れる品物を考えて下さい。

必ずラブレターを添えて下さい。

行事予定

・来年度の山行計画を立てる方法を皆さ
んで聽えて下さい。

11月14日 例会 於・婦人会館 出席 名
12月1日 カ58支部山行 忘年山行

三浦海岸 参加17名
万二郎岳・篆木山

・じだ" 20号の原稿を至急 浅井氏又は
委員に提出下さい。

例会
1月8日 (木)
PM 6:30
於・横浜市 婦人会館

昭和44年1月8日
S·H·C 横浜支部
横浜市中区初音町1-19(影山)
編責: 佐々木美賀子

第160回 支部山行

“陽だまりを求めて”
世附峠から不老山

2月2日(日) 日帰り・雨天中止

〈コース〉 横浜 → 国府津 → 駿河小山 → 柳島 →
世付峠 → 不老山 → 柳島 → 駿河小山 →
国府津 → 横浜

〈徒歩〉 4時間

〈交通費〉 600円

〈携行品〉 弁当・雨具・水筒・歌集・etc

〈集合〉 横浜駅 5・6番線示地下道上8時
横浜8時7分発伊東行最前部乗車

〈係〉 石山武 横須賀市三春町 1-21

——地図は2頁参照——

才 15回 支部山行

12月1日

参加者

関野昌・中山一重

久保田治・石山武

(係)

石井春男

山を見送つて、早目に忘年山行(?)を。

三浦海岸の民宿で、宴会。全員集合へ時半。

17名(?)参加。久保田氏の掛け声で乾杯。

太田支部の添田氏をゲストに迎え、メートル
の上った顔で自己紹介。自分を売り込むのに

懸命。また山では見なれぬ着物で、シャナリ
シャナリの人もあつて、賑やかなこと。

食事も豊富で、海の幸を味わう。ごきげん
である。歌も出たりこゝ、ゲームをやつたり

夜のふけるのも忘れて、がや／＼。明方
まづ、蝶つまつた人もあり、年に一回の

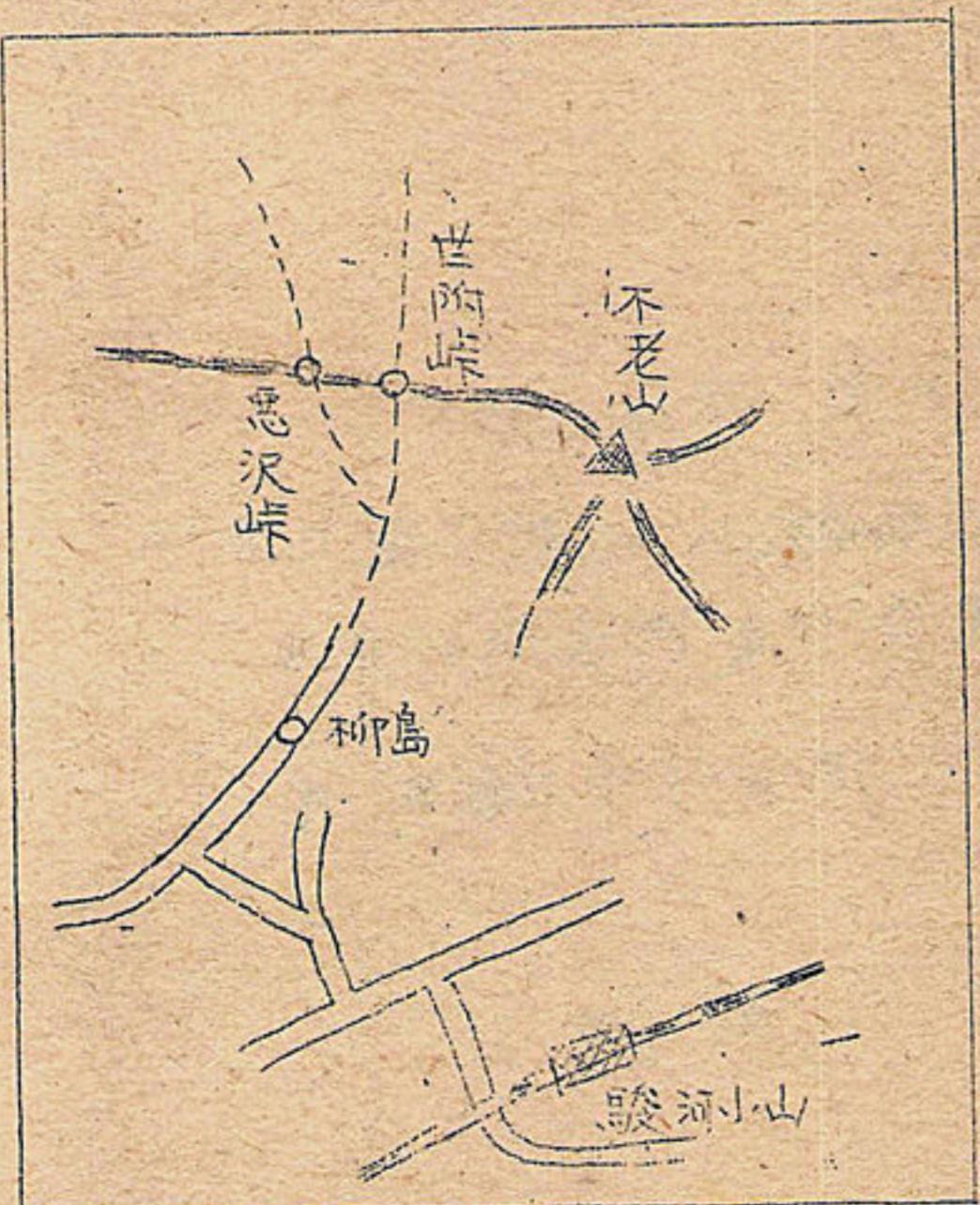
コースタイムのない山行。お好きなように。

翌日は、宿の前の砂浜で、ボトル投げや
ミカン拾い等で遊び、車で油煙ヘドライト。

十三時、三浦海岸駅で散会する。

忘年山行

於・三浦海岸



44年度山行係

12月例会にて決定

44
八月支那
中 山・佐々木(義)

碇 渡辺(潤)
足 立 竹田

小 川 石 井 佐 次 野 村

影 山 内 田 渡 边(三)

石 山 関 佐々木(隆)

野 山 渡 边(三)
(前年)久保田・町田・北村・湯口

本 多 今 川 吉 岡 齐 藤(隆)

鈴 木 久 保 田

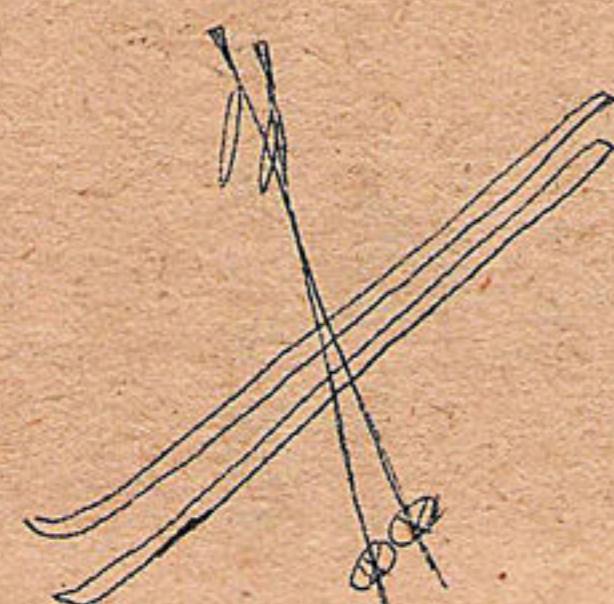
*各係は、連絡を一々、2月例会までに必ず山行地を決め下さい。

*夏山・スキー等は後日決定。

岳人の歌

1. 星が降るあのコル グリーゼードオ
あの人は来るから 花をくわえて
アルプスの恋歌 心とキメくよ
なつかしの岳人 やさしく彼の君

2. 白樺にもたれるは、いとしこ女が
黒百合の花を 胸に抱いて
アルプスの黒百合 心とキメくよ
なつかーの岳人 やさしく彼の君



お知らせ!!

。12月の例会に於いて、討議しまして委員会に
関する会則変更は、次の通り決定しました。

本支部には、代表・本部委員・会計の

各一名を置き、任期は、年とする。

及び委員、名を置き、任期は一年とし、
期に分け、一期、名づく担当する。

委員は、ニュース等の印刷物、例会の
進行、その他を受け持つ事とする。

住所変更

。本多・隆志

戸塚区瀬谷町四六三九

南台市営住宅五三六号

。野村・晃一

港北区寺山町 五三七一四一

行事報告

12月11日 定例会 於・婦人会館

出席 21名

行事予定

1月8日 定例会 於・婦人会館

1月12日 才159回支部山行・天城山

(係) 鈴木・中山

2月2日 才160回支部山行・不老山

(係) 石山

2月9・11日 才161回支部山行・八方尾根スキー

(係) 佐々木(美)

例会

2月13日 (木)

P.M 6:30 ~ 9:00

於・婦人会館

No. 115

昭和44年2月13日

SHC 横浜支部

横浜市中区初音町1-9(影山) 一
編著 渡辺開代

第162回 支部山行

帶那山

(而无中止)

3月2日(日) 夜行日帰(1)

〈コース〉 新宿—甲府=積翠寺温泉---汁垂橋
バスせきすいじ しるたれ
----太良ヶ峠---那山---弓張峠---熊泉
タラカゲノハナカミ ナミヤマ カムイハナカミ
----天神森=甲府
バス

〈費用〉 約1500円

〈攜行品〉 雨具、防寒具、弁当、食 etc.

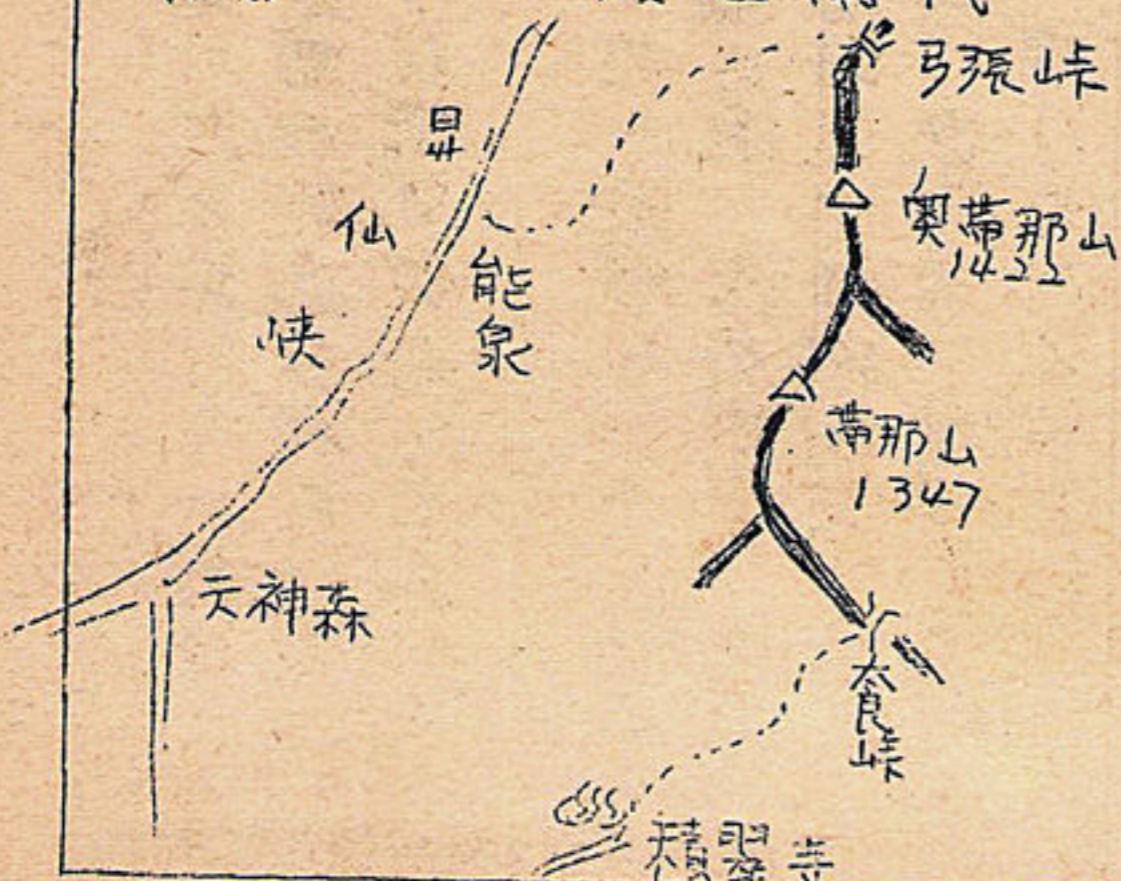
〈集合〉 横浜駅 7.8番線木-△地下道上

1月(+) 20:30

新宿発 23:55 発 長野行 乗車予定

〈係〉

渡辺闇代 横浜市西区燕松町 4の21



中央線沿線の
山は混雜うまいじゅうざいうち
に樂しみましょう。

第159回 支部山行 1月11日～12日

伊豆

参加者 中山一重、鈴木国之、久保田治、

石井春男、田中緑代、斎藤隆子、
佐々木美智子、足立久子、渡辺關
代、他一名

本部より大先輩酒井氏を招りて一行は十人
早速張り切に食事が始められた。腹十一
分目迄食べて残りは明日の為にとおにぎり
にした。

横浜駅発19.08伊東行に乗りこむ。駅前より二台のタクシーに分乗し、へこゝで断わつてあきたりのだが車は3900ccの外車、乗心地はバツグン)小さな地団を頼りに先発隊の待つ大室高原入口の伊東寮へ。着

・トランア等々、帰りのバス賃を賭けてのセブンブリッジには皆目の色変えて熱中した。又最下位のK氏の隠し芸では小話等も飛び出した。しやれこんでブレザーに革靴姿のI氏を除いては皆出で立ちは勇ましかったが、全く歩かない山行、こんなのも時にはお愛敬で良いではないか。

(足立記)

グドレスでなければ入れてもらえないのではなくかと戸惑う程、鈴木氏らのお陰です
き焼もちょうど食べ頃に出来上がっており、

本部の会費がやれている方が居ります

急紹へして下さい。

44年度・支部委員選出!

人会計	1名	①吉岡信子 渡辺興代 佐々木美智子 竹田 明 中山一重	11 15 15 15 4	②吉岡信子 佐々木幸郎 佐々木美智子 久保田治 中山一重	16 22 22 22 13	③鈴木国之 久保田治 竹田 明	9 16 16	④鈴木国之 渡辺興代 ○庭 靖人 ○庭 靖人	18 20 19 20	⑤鈴木国之 ○吉岡信子 佐々木幸郎 久保田治 中山一重	17 17 17 17 4	⑥鈴木国之 久保田治 竹田 明	11 16 16	⑦鈴木国之 久保田治 竹田 明	16 16 16

どこまでも行こう

1. どこまでも行こう 道は厳しくとも
口笛を吹きながら 走って行こう
2. どこまでも行こう 道がなくなつても
新しい道がある この森の向うに
どこまでも行こう 道は淋しくとも
あの星を見つめながら 迷わずに行こう

旅人よ

1. 風に震える 緑の草原
たどる瞳輝く 若き旅人よ
お廻き途かな 空に鐘が鳴る
遠いふことに居る 母の歌に似て
やがて冬が冷たい雪を運びだらう
君の若い足跡 胞に焼る恋も 埋めて
草は枯れても 生命果てるまで
君よ夢を心に 若き旅人よ

お知らせ

新会員どうぞようしく！

中村嘉宏

横浜市南区浦舟町3の38

じだ 20号の原稿を大至急沛提出下さり

福原ミツイさんは即結婚後、左宮へ転居
されました。

大平ミツイ 埼玉県狭山市木野一〇九二

行事予定

2月13日

例会 於・婦人会館

3月2日

第16回支部山行 莺那山

1月8日 例会 於・婦人会館 出席名
1月12日 オ159回支部山行・伊豆 参加10名

2月2日 オ160回支部山行 不老山 参加名

2月9日 オ161回支部山行 スキー 参加名

八方尾根 参加名

例会

3月12日

(水) PM6:30

於・横浜市
婦人会館

○例の本部集中は、今年はとりやめ、ハイキンタラリーヒなります。詳細は雑誌
3月号で。 4月6日、廿六

No.116

-1-

昭和43年3月12日刊

SHC 横浜支部

横浜市中区初音町1-10
(影山元芳)

編責・佐々木美智子

第162回支部山行 (太田支部合同)

守屋山 (1,650m)

4月20日 (夜行日帰)

<コース> 新宿 —— 茅野 —— 守屋山入口 ——
水場 —— 東峰 —— 守屋山 —— 方倉
—— 茅野 —— 八王子 —— 横浜

<歩行時間> 3時間半

<費用> 約1,700円

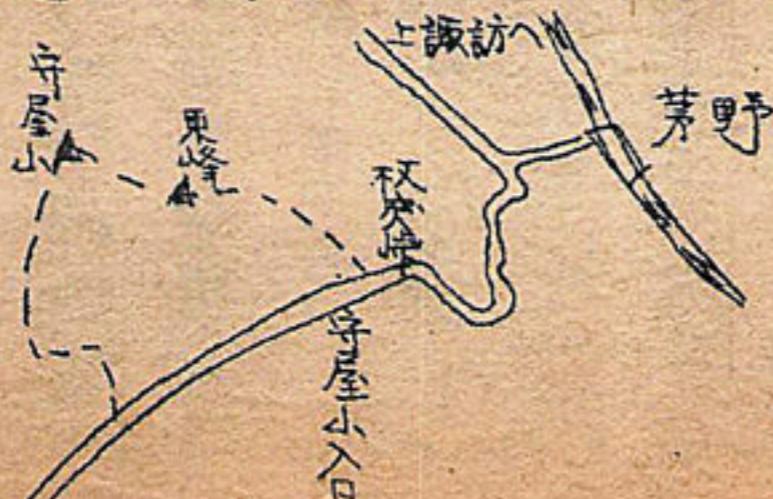
<携行品> 弁当2食 雨具 防寒具 食器 歌集 et.c

<集合時間> 横浜駅 7・8番示一地下道上

1980年 20:00

<係り> 中山一重 佐々木美智子
(TEL. 261-0353)

静かで、展望のすばらしい山頂で、太田支部の
皆さんと、鍋を囲んで交歓しましょう。



頂上でうどんを作ります。
ぜひ参加下さい。

第159回支那山行報告

世附峠より不老山

2月2日

（参加者） 石山武（係） 鈴木国之 石井春男
 吉角信也 今川勝子 斎藤隆子
 佐々木美智子 池3名

<コーススタイル>

横浜(8.07) 駿河小山(9.5) 柳島(10.5)
 (9.6) 世附峠(12.5) 不老山(13.15)
 (14.45) 世附峠(15.15) (15.30) 浅瀬(16.20)
 (17.0) 新松田(16.20～18.32) 横浜(19.5)

登るようになり、火山灰のサラサラした道で
 峠を越え、やるやかな登りが続く。遠くの展望は
 キカナガ、峰坂峠から不老山にかけての青々とした
 美しい植林が見え、まもなく右に世附峠の道が
 わかれる。途中柳島から通じる道路を横切り
 まもなく大きな道標の立つ世附峠に着く。
 道標には「頂へ20分とあるが、30分はたっぷり
 とかかる急な登りだ。不老山までは左手に西丹沢
 の大展望を楽しみながら、竹ヤブの中に続く道を
 進み、一汗かくと、キレイに刈りおわった防火線の
 広々とした山頂に着く。この頃から太陽も顔を

雪り空を気にしながら、一行10名、駿河小山
 の駅を後に、商店街を抜け湯船温泉への道を
 見送り、右に湯船川を渡つて、柳島の部落に
 入る。右手に不老山を見ながら歩く林道は、
 とちおり咲く梅の花が、我々の目を楽しませて
 くれた。峰坂沢の橋を渡ると、こより尾根を

はじめ、遠く富士・愛鷹もあらわしてても
 よい眺めで、時々肌をさす冷たい風が体にしみ
 わたり、ちょびり冬の気分を感じた。
 山頂を後に、世附峠ごひどい、正面に西丹沢の
 山波を見ながら下山。世附川にかかる吊橋で
 最後のスリルをあじわい、17時浅瀬より新松田
 行の車中のひととなつた。

昭和4年度山行地決る

放浪の歌

4月20日	守屋山(天田支部合宿)	中山	佐々木(美)
5月3日	鳳凰三山(南)	碇	竹田
6月15日	巻機山(上越)	久保田	足立
7月20日	槍ヶ岳・穂高縦走	石井	野村
8月	丹沢の大歩道	佐次	影山
9月	キヤンブ	内田	
9月21日	蓼科山(北谷)	関野	佐々木(隆)
10月26日	日光太郎山	奥野	佐々木(隆)
11月	赤城山	石山	渡辺(三)
12月7日	忘年山行	多賀町田・北村昌	
	石老山		
スキー・野沢温泉			
経ヶ岳(丹沢)			
大倉高丸			
2月	吉岡	青藤隆	
3月	金不		

一 そんなに おまえは なぜ嘆く
草のしとねに 寝ころぶ
わたくしの こと お聞きあれ
人の浮世の 見景を捨て
二 口笛吹いて 気をはらせ
うつつの夢を見ていやれ
くたびれ休みに山を見て
はうがへつたら また歩け

小さな日記

八方尾根スキー 2月8日～11日

（参加者） 石井春男 鈴木国之 野村晃一
 渡辺開代 田中綱代 北村玉江
 佐々木美智子（係） 他3名

一日目（2月9日 晴れ）

長いバスの旅も何うその。精銳十名、朝食も
早々に外へ飛び出し、田舎のリフトを乗り次ぎ、兎平へ
直行。天気は快晴だが風強く、一寸先も見えぬほどの
猛烈な雪煙にあい、すぐ下に下る事に一た。しかし
昨夜一晩降り続いた雪の為、新雪の積たリ、ザンコ
スをおりるのに四苦八苦。コースに入り、六を避けた
顔面制動で止まつたりしながら、雪だるまになづく
名木山ゲレンジで止まり、タカモづすべる。

二日目（2月10日 晴れ）

七時半、リスト乗り湯へ行き、中のすゞい人の列にびく。
名木山リフトで一時間待たされる。やの上もしかり。

歩いた方が早いと、スキーをかついで歩く事にした。
兎平着十時。天気快晴にて景色は素晴らしい。
行く者と講習を受ける者と二班に別れて行動。
晚。明日の行動計画を練る。

三日目（3月11日 晴れ）

起床五時半。スキーに来て、こんなに早く起きた
るども思わなかつた。が、その後、夕方、昨日の計画
通り順調に行き、八時半展望台到着。そこより
一時間半程にて、オーテルへ荷を置く。この両性
群は、男性群に、スキーを持つてもらう、感謝感激。
そして、すぐ近くのオーテルへ歩き運び滑る。
白馬三山、唐松・五竜・鹿島槍等をバックに、あく
までも広いその緩斜面で滑った二時間は、このス
キー期間中一番楽しい一時だった。そーースキー
の今ほどと違った魅力を知ったとわざの感想
だった。けが人もなく、三日間快晴によくま
た事を、何よりもうれしく思います。

お知らせ!!

行事報告

◇44年度委員の内、岡野昌氏が都合により辞任致しましたので、吉岡信子さん兼会計と兼任で委員に決りました。

◇しだ「20号」発行

浅井氏を中心に、多數の方の協力により予定通り、発行できました。ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

◇4月例会にて、43年度支部山行のスライド映写を行なう予定です。

◇新しい役員も決りました。支部員は全員で協力し、楽しい支部に致しましょう。

◇43年度も、今月で終りです。支部会費を納入して継続して下さい。本部会費切手の方も、至急継続を。

行事予定

3月12日	例会	於婦人会館
4月20日	第16回支部山行 那山	参加5名
	(原) 中山・伍々木(美)	

例会

4月9日 (水)
P.m 18:00
S 21:00

於 婦人会館

No.116

-1-

昭和43年3月12日刊

SHC 横浜支部

横浜市中区初音町1-10
(影山元芳)

編責・佐々木美智子

第162回支部山行 (太田支部合同)

守屋山 (1,650m)

4月20日 (夜行日帰)

<コース> 新宿 —— 茅野 —— 守屋山入口 ——
水場 —— 東峰 —— 守屋山 —— 方倉
—— 茅野 —— 八王子 —— 横浜

<歩行時間> 3時間半

<費用> 約1,700円

<携行品> 弁当2食 雨具 防寒具 食器 歌集 et.c

<集合時間> 横浜駅 7・8番示一地下道上

1980年 20:00

<係り> 中山一重 佐々木美智子
(TEL. 261-0353)

静かで、展望のすばらしい山頂で、太田支部の
皆さんと、鍋を囲んで交歓しましょう。



頂上でうどんを作ります。
ぜひ参加下さい。

第159回支那山行報告

世附峠より不老山

2月2日

（参加者） 石山武（係） 鈴木国之 石井春男
 吉角信也 今川勝子 斎藤隆子
 佐々木美智子 池3名

<コーススタイル>

横浜(8.07) 駿河小山(9.5) 柳島(10.5)
 (9.6) 世附峠(12.5) 不老山(13.15)
 (14.45) 世附峠(15.15) (15.30) 浅瀬(16.20)
 (17.0) 新松田(16.20～18.32) 横浜(19.5)

登るようになり、火山灰のサラサラした道で
 峠を越え、やるやかな登りが続く。遠くの展望は
 キカナガ、峰坂峠から不老山にかけての青々とした
 美しい植林が見え、まもなく右に世附峠の道が
 わかれる。途中柳島から通じる道路を横切り
 まもなく大きな道標の立つ世附峠に着く。
 道標には「頂へ20分とあるが、30分はたっぷり
 とかかる急な登りだ。不老山までは左手に西丹沢
 の大展望を楽しみながら、竹ヤブの中に続く道を
 進み、一汗かくと、キレイに刈りおわった防火線の
 広々とした山頂に着く。この頃から太陽も顔を

雪り空を気にしながら、一行10名、駿河小山
 の駅を後に、商店街を抜け湯船温泉への道を
 見送り、右に湯船川を渡つて、柳島の部落に
 入る。右手に不老山を見ながら歩く林道は、
 とちおり咲く梅の花が、我々の目を楽しませて
 くれた。峰坂沢の橋を渡ると、こより尾根を

はじめ、遠く富士・愛鷹もあらわしてても
 よい眺めで、時々肌をさす冷たい風が体にしみ
 わたり、ちょびり冬の気分を感じた。
 山頂を後に、世附峠ごひどい、正面に西丹沢の
 山波を見ながら下山。世附川にかかる吊橋で
 最後のスリルをあじわい、17時浅瀬より新松田
 行の車中のひととなつた。

昭和44年度山行地決る

放浪の歌

4月20日	守屋山(天田支部合宿)	中山	佐々木(美)
5月3日	鳳凰三山(南)	碇	竹田
6月15日	巻機山(上越)	久保田	足立
7月20日	槍ヶ岳・穂高縦走	石井	野村
8月	丹沢の大歩道	佐次	影山
9月	キヤンブ	内田	
9月21日	蓼科山(北谷ヶ岳)	関野	佐々木(隆)
10月26日	日光太郎山	奥野	佐々木(隆)
11月	赤城山	石山	渡辺(三)
12月7日	忘年山行	多賀町・北村昌口	
石老山		本多	今川
スキー・野沢温泉		渡辺(開)	
経ヶ岳(丹沢)		吉岡	青藤隆
大倉高丸		鈴木	

一 そんなに おまえは なぜ嘆く
草のしとねに 寝ころぶ
わたくしの こと お聞きあれ
人の浮世の 見景を捨て
二 口笛吹いて 気をはらせ
うつつの夢を見ていやれ
くたびれ休みに山を見て
はうがへつたら また歩け

小さな日記

八方尾根スキー 2月8日～11日

（参加者） 石井春男 鈴木国之 野村晃一
 渡辺開代 田中綱代 北村玉江
 佐々木美智子（係） 他3名

一日目（2月9日 晴れ）

長いバスの旅も何うその。精銳十名、朝食も
早々に外へ飛び出し、田舎のリフトを乗り次ぎ、兎平へ
直行。天気は快晴だが風強く、一寸先も見えぬほどの
猛烈な雪煙にあい、すぐ下に下る事に一た。しかし
昨夜一晩降り続いた雪の為、新雪の積たリ、ザンコ
スをおりるのに四苦八苦。コースに入り、六を避けた
顔面制動で止まつたりしながら、雪だるまになづ
名木山ゲレンジで止まづく。タカモづく。

二日目（2月10日 晴れ）

七時半、リスト乗り湯へ行き、中のすゞい人の列にびく。
名木山リフトで一時間待たされる。やの上もしかり。

歩いた方が早いと、スキーをかついで歩く事にした。
兎平着十時。天気快晴にて景色は素晴らしい。
行く者と講習を受ける者と二班に別れて行動。
晚。明日の行動計画を練る。

三日目（3月11日 晴れ）

起床五時半。スキーに来て、こんなに早く起きた
るども思わなかつた。が、その後、夕方、昨日の計画
通り順調に行き、八時半展望台到着。そこより
一時間半程にて、オーテルへ荷を置く。この両性
群は、男性群に、スキーを持つてもらう、感謝感激。
そして、すぐ近くのオーテルへ歩き運び滑る。
白馬三山、唐松・五竜・鹿島槍等をバツクで、あく
までも広いその緩斜面で滑った二時間は、このス
キー期間中一番楽しい一時だった。そーマスキー
の今ほどと違った魅力を知ったとわざの感想
だった。けが人もなく、三日間快晴によくま
た事を、何よりもうれしく思います。

お知らせ!!

行事報告

◇44年度委員の内、岡野昌氏が都合により辞任致しましたので、吉岡信子さん兼会計と兼任で委員に決りました。

◇しだ「20号」発行

浅井氏を中心に、多數の方の協力により予定通り、発行できました。ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

◇4月例会にて、43年度支部山行のスライド映写を行なう予定です。

◇新しい役員も決りました。支部員は全員で協力し、楽しい支部に致しましょう。

◇43年度も、今月で終りです。支部会費を納入して継続して下さい。本部会費切手の方も、至急継続を。

行事予定

3月12日	例会	於婦人会館
4月20日	第16回支部山行 那山	参加5名
	(原) 中山・伍々木(美)	

例会

4月9日 (水)
P.m 18:00
S 21:00

於 婦人会館



昭和44年5月14日発行
S H C 横浜支部
横浜市保土谷区保土谷町1924 (鈴木国
編集責任者 吉岡信)

第165回 支部山行

巻機山

6月15日(日) 夜行日帰

(コース) 上野 —— 六日町 —— 清水部落 —— 割引岳
—— 卷機山 —— (牛ヶ岳) —— ニセ巻機山 ——

桜坂 —— 清水部落

(徒歩) 10時間

(費用) 3,000円

(携行品) 弁当2食 雨具 水筒 アイゼン 歌集 etc.

(集合) 横浜駅 28番線ホーム地下道上

14日(土) 20時30分

(係) 久保田治 TEL (24) 5380 (20時以降)

谷川連峰のすぐ北に、大きくのびやかに曲線を描く美しい山。湿原と草原に点々と池塘をちりばめた山稜は、じつにおあらかで、展望もすばらしい。登山者は少なく静かですが、古くから知られた越後の名山です。

(地図 2ページ参照)

参加者は支部員に限ります。

支部山行報告

第一回 守屋山 (4月20日)

参加者 中山一重 (田) 佐々木耕輔子

S (山) 関野昌 篠木国之 古山昇

石井春男 竹田明 中村嘉宏

吉田信子 渡辺開代 斎藤隆子

湯口静枝 吉岡節子

コースタイム 新宿(6:55) 5:40 茅野

(5:50) 6:15 登山口 (6:20) 6:30 休

憩 (7:00) 7:40 小屋 (7:50) 8:35 東

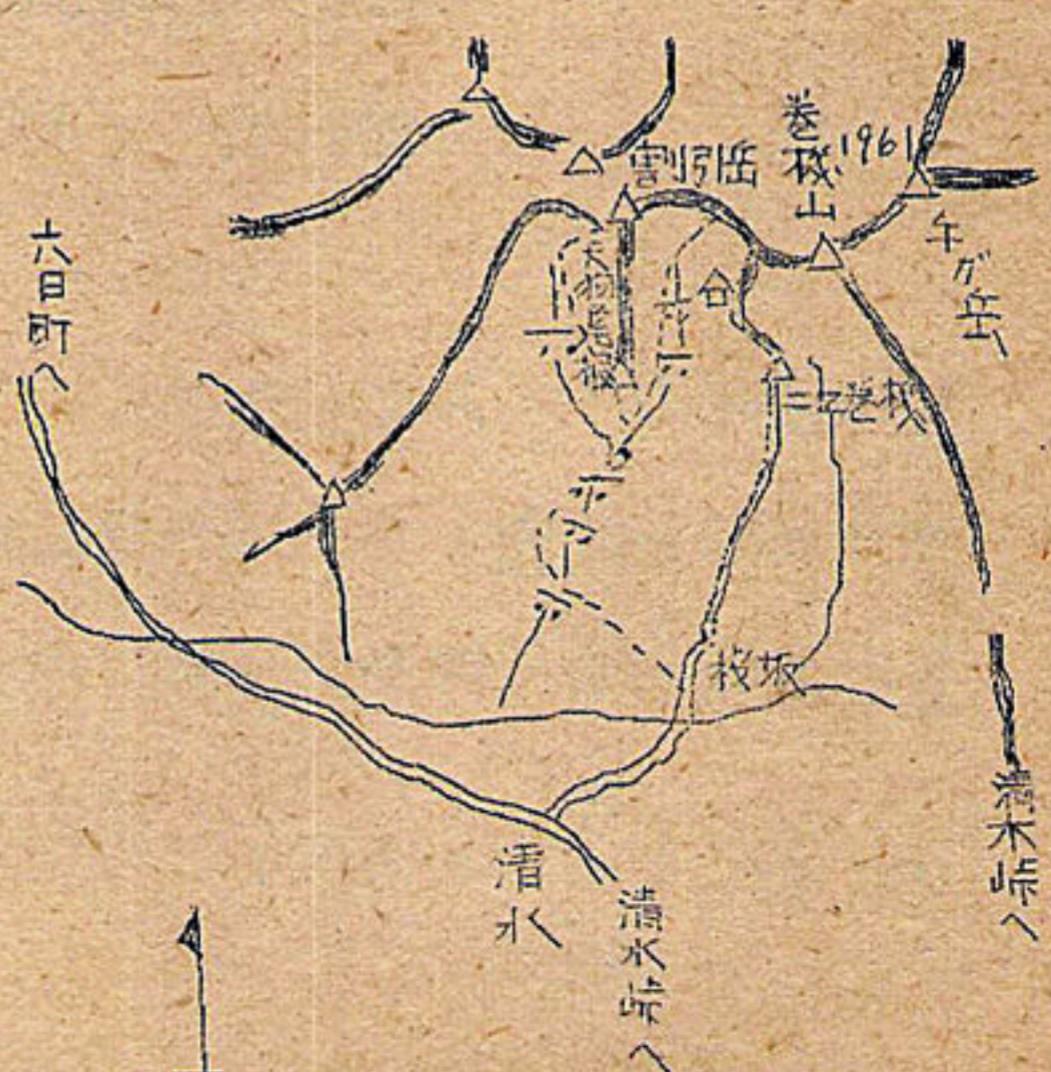
峰 (8:20) 12:40 山頂 (13:00) 13:30 休

憩 (13:40) 14:00 休憩 (14:20) 14:54 止

片倉 (16:05) 16:55 茅野 (17:08) 19:55

王子 (17:51) 20:55 横浜

巻機山



でつぶし、第一回の合同山行です。

係の宣伝が良かつたのか、当横浜支
部からは、十三名と多くの参加者が、
新宿に集まつた。大田支部はと待て
ば、列車の発車が近づいても、来る
予定の人数集まらず、結局六名の参

大田支部より、合同山行の説が出て

早朝の茅野。天氣快晴だが、さすがに大気はひんやりする。バスの始発時問にはまだ大分あるが、二の好天に駆けなんぞでグラ／＼してくる事はない。と田舎のタクシーに分乗して、守屋山登山口へと急ぐ。途中、杖突峠付近にて、真白な雪をつけ朝日に輝く穂高連峰を見に出す。山頂よりの展望が楽しみだ。

登山口より、最初のピーク東峰迄は、たこした登りもなく、チノタラ／＼残雪の山道を歩くうちに着く。が、二メリの展望は誠に素晴らしい。真白な雪をつけてくる、南アルプスは、暖ニ春の日をうけて、まばゆいばかり。ように、霧ヶ峰、ハガ岳等々。その三百六十度の展望をほしいままで、歌をうたひ三時間余を過した。二の東峰より二十分钟先のピークが守屋山山頂で、一等三角点が置かれてる。二ニで最後の展望を楽しみ、片倉部落へ下る。が、楽しかった山行みだ。

追記

関野さん石井さん先にトラックへ乗せて頂きありがとうございました。

お知らせ

吉岡節子さんが4月より仲間になりました

バリバリ張くと張り切っていきます。どうぞよろしく

川崎市昭和町一の五〇

石井春男さんの住所が左記に変更しました

東京都中野区中央2の5の8 アサヒ製作所寮内

11月16日(日)本部山行矢倉岳の係を担当部が受け持つ
ことになりました。

印刷用のがり版購入しました。(二三〇〇円)

個人山行

①田阿山(菅平) 5月18日(日)夜行日帰り

②燧岳(尾瀬) 6月1日(日)夜行日帰り

参加希望者は②とも竹田明さんに電話して

下さい。TEL(533-2292)

行事報告

4月9日 例会 於婦人会館 出席19名

4月20日 オ163回 支部山行守屋山 大田支部合同

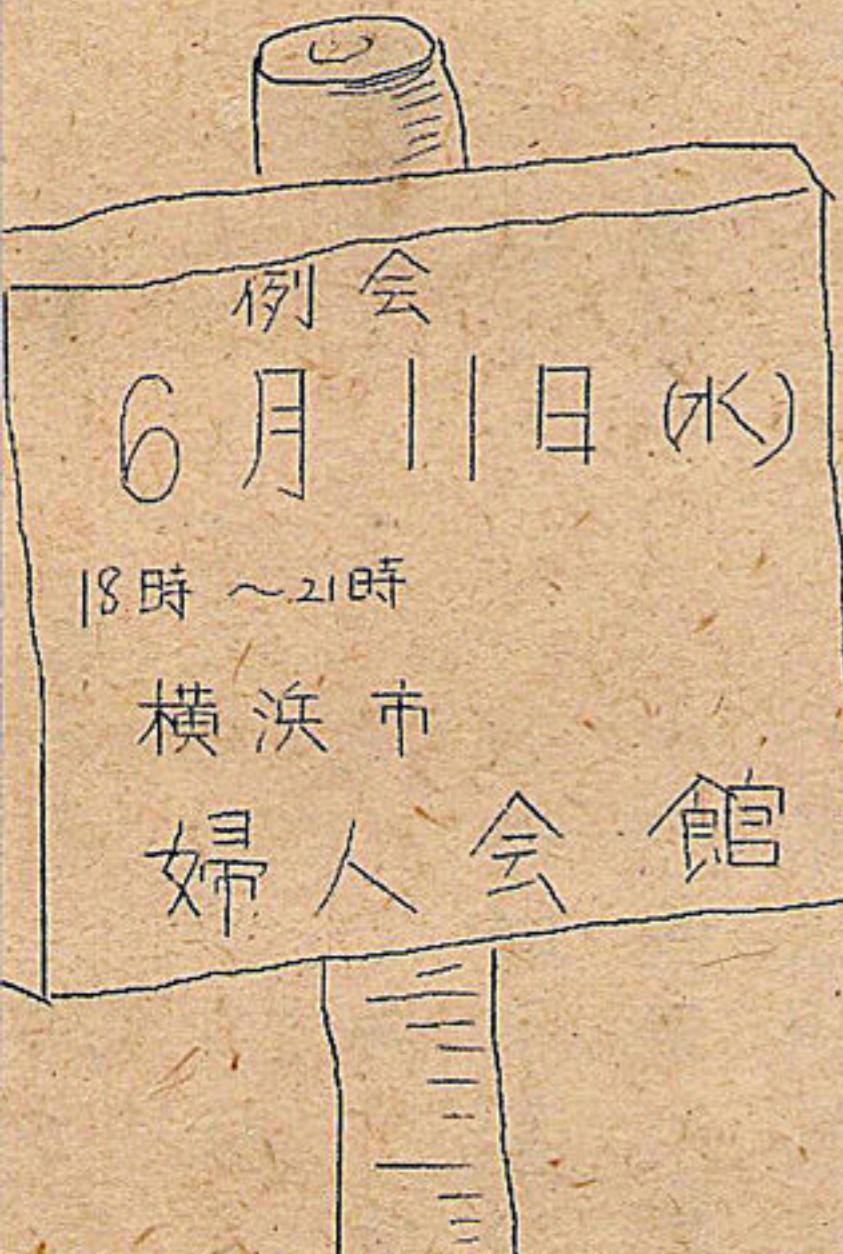
参加横浜支部13名 大田支部6名

5月3～5日 オ164回 支部山行鳳凰三山 参加8名

行事予定

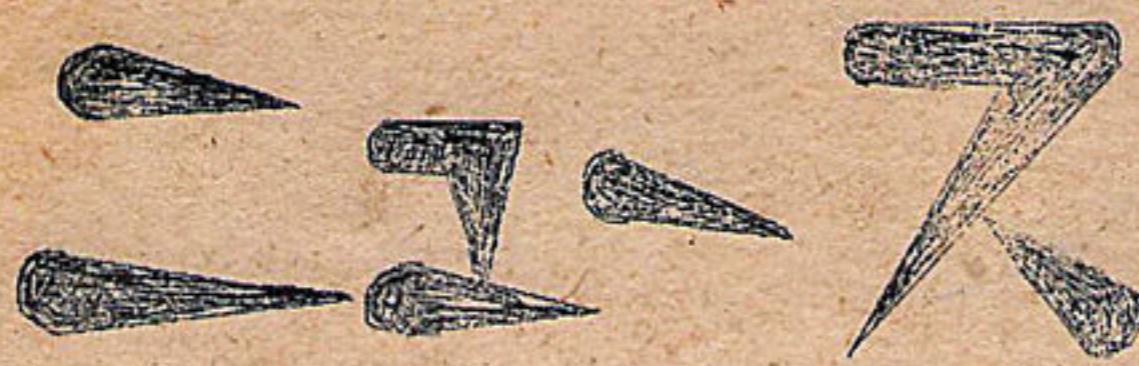
6月11日 例会 於婦人会館

6月15日 オ165回 支部山行巻機山 係久保田



オ119号

昭和44年6月11日発行



SHC

横浜支部

横浜市保土ヶ谷区保土ヶ谷町1の24(6)

編 責 吉岡 信一

オ166回支部山行

槍ヶ岳 穂高岳

縦走

7月17日(木)夜行～20日(日)

〈コース〉 新宿 → 松本 → 上高地 → 槍ヶ岳

→ 穂高岳山荘(泊) → 上高地 →

松本 → 横浜

〈費用〉 8000円

〈携行品〉 弁当2食 雨具 水筒 その他

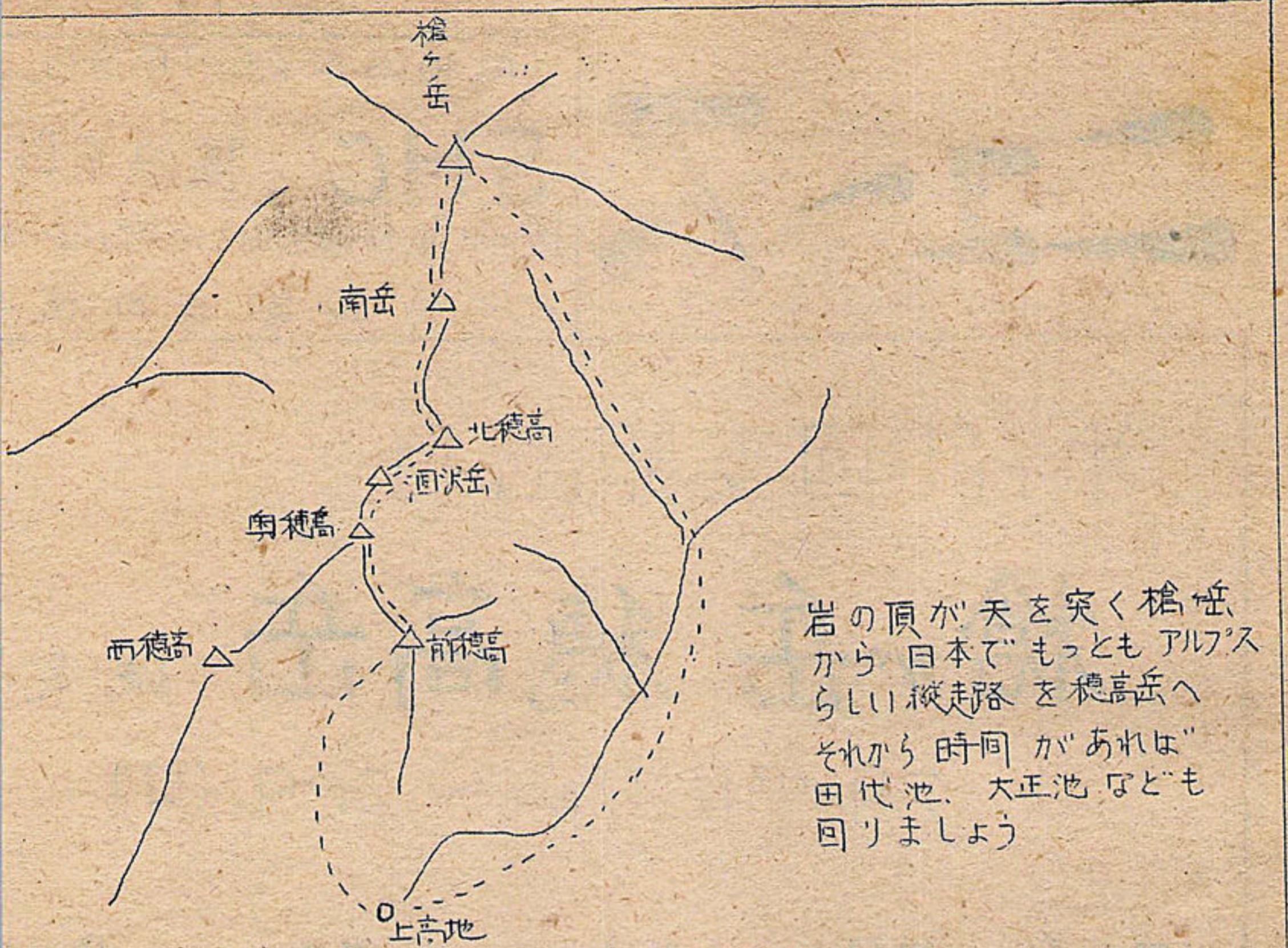
〈集合〉 横浜駅28番線ホーム地下道上
17日(木) 20時

〈係〉 石井春男 TEL 03(369)7171

(打合 月 日 カトレア3階)
横浜駅西口

次頁へ

7月例会は会場の都合により7月8日(火曜日)で
あわて者の方 気をつけて下さい。



岩の頂が天を突く鳩ヶ岳
から日本でもっともアルプス
らしい縦走路を穂高岳へ
それから時間があれば
田代池、大正池なども
回りましょう

支部山行報告

第一六四回 鳳凰三山

(5月3~5日)

参加者 破清人(口) 竹田明(口) 中村嘉宏 渡辺
関代 佐々木美智子 内田栄子 北村玉江
吉岡節子

一曰目 キスリングをして歩き初めは毎度の
ことながら身にこたえる。しかしこれが山行の後
妙なつかしさをもって思は出されるから山とは不
思議なものである。これとて我々をなぐさめて
くれる展望は得られぬまま、もくもくと今夜の宿夜
ヌ神峠自らして歩く。そのかいあつて夜ヌ神での展夜
目前に雄々しくそびえ立つのは白根三山。去年の支
部山行地、今回メンバーの中には参加した人が大
きな数をしめているせいか、去年の昔しかったこと等
思は出し、感激もひとしおのようだ。又新人の人には
去年はあの山を登ったのよと、そらぶつて説明する
のは気分のよいものだ。ではもう一度登るかいといふ
われるところと考へてしまふが、

二日目 ひやりとした空気に目をさます、窓から
しこむ月と星のやわらかい明るさが目にうつる、今
日も天気は続くだろう。

更は地のままの美しさを、春は木々のもえる青と残雪のオブラーントをかるく包んだきよらかさを。春の白ざしは暑い。しかし我々の足は快調に進む。莓平で食事を取る。南御室小屋をへて急な登りに一汗流せば薬師岳まではあヒ少しだ。

山頂の展望は富士はもちろんのことハケ岳、南アルプス、北アルプスの山々など頭を一回転してアルプス、北アルプスの山々など頭を一回転しても無限に景色は続く。きょうは連休のためか山頂には都会広場のよう。若ヒ人でいっぱい。休む場所をさがすのに一苦労。思わず山はつも静かで人はいなし才がよいのにと心の中で回りに向つて文句をいう。

地蔵岳で昼食ヒ昼寝、二ニも人でいっぱい。でもそんなどことはみんな忘れて青空をただじつとろ出る。ひそいでタオルで額をおおう。もみづけた。曰ざしが暑いせいか涙がぽろぼろ出る。下りは急だ。今まで苦労して登つてきた山が元気でブクブク。ながらある。足はがくがく、口だけがでこんどん後に遠ざかる。足はがくがく、口だけがでこよいの宿御座石鉱泉につく。しかし猫も入りこむすまのないほどの満員ぶりに一同あきらめて穴山温泉まで行くことに変更。暗い山道をライト片手に歩きづけ、途中親切なる人々の協力を得て無事寝ぐらまでたどりつく。追記夜空の美しさを

コースタイム

名ハ王子(9.20)甲府(11.06)夜又神崎(13.09)夜又神

小屋(13.55)

5/4 小屋(4.00) 杖立峠(5.15) 莓平(6.50~7.30) 南小室小屋
 7.55~8.05 薬師岳(9.30~10.05) 觀音岳(10.30~11.00)
 地蔵岳(11.20~13.25) 鳳凰小屋(13.55~14.20) 燕頭山
 15.40~16.00 御座石鉱泉(17.35~18.45) 分岐(19.10) 平川
 峠分岐(20.20) 民家(21.05~21.45) 旅館(23.00)

山の路

山の路をあゆのば
鳥は小梢にささやく
ときたれ友よ妙高へ
ともに歌わんトララ

みぎわに

一 山賊のつた
雨が降れば 小川がで
風がふけば 山ができる
ヤツホーヤツホーホー
さみしひところ
ヤツホーヤツホーホー
さみしひところ
月が升れば おいらの世界
ヤツホーヤツホーホー
みんなをよべ
ヤツホーヤツホーホー

お知らせ

◆ 5月より入会しました。どうぞよろしく。

惠良正一——えらと読みます。珍しい名前でし
ょ。早く覚えて下さいネ。東京に勤めて
います。

横浜市中区福富町西通52

福富町西通り公団住宅502

磯島恵子——初めて行った山は尾瀬。巻機山

へ初参加するつもりですが皆と一緒に歩
けるかすこく心配です。勤務地は横浜
横浜市戸塚区中田町1834

小川さんの住所と氏名が変わりました。
横浜市金沢区野島町369 浅香龍利

クソタ月の委員は竹田さん佐々木善さんが担
当します。ニュースの原稿送付外よろしく。

関野さんが歌集を作つて下さいました。
グリーンの表紙です。例会や山行に持参して
下さい。大口にうたいましょう。

行事予定

5月14日 例会 於婦人会館 出席23名

行事報告

6月15日 オ165回支部山行巻機山 係久保田
7月8日 例会 於婦人会館
7月18～20日 オ166回支部山行槍ヶ岳、穂高岳
係石井

